

「2017国際フォーラム in ゆがわら」

2017年11月11日(土) 於:町立図書館 14:00~16:00

「グローバルな町づくりをめざして」(世界から湯河原へ、湯河原から世界へ)

(globalization+localization=幅広い世界観をもって、身近な地域活動から・・・)



コーディネーター
(瀬野 清水氏)
大阪電気通信大学客員教授、MarchingJ財団事務局長、



ゆがわら国際交流協会、創立30周年の記念事業である、「2017国際フォーラムinゆがわら」が湯河原町立図書館で開催され、約80人の参加者がコーディネーターの提言に又パネラーの主張に耳を傾けた。

- ・なぜ日本に、そして来日して感じたこと
- ・日本の生活習慣で直したいこと、外国人も住みやすいことへの提案
- ・若い人たちへの提言など様々な内容で一人ずつ、考えを語り、来場者からも積極的な質疑応答が交わされた



パネリスト(葉維英氏)
中国・上海在住、「第4やさ交流」に参加、日本語学校経営、経営コンサルタント、日中産学連名会会長



パネリスト
(Julissa 二見氏)ペルー出身、湯河原在住20年、海外文化紹介講座講師、スペイン語支援ボランティア



パネリスト(山田 貴子氏)
湯河原出身、1999年・第一回ポート派遣生、慶應大学特任助教授、(株)ワクワークイングリッシュ代表



パネリスト
(井上 サンドラ氏)
ブラジル出身、日系3世、会社員在日26年、海外文化紹介講座講師、日本語支援事業サポーター



パネリスト(Kevin Erazo氏)スウェーデン出身、日本語学校生徒、2017年の「第32回やさ交流」に参加、作曲家志望